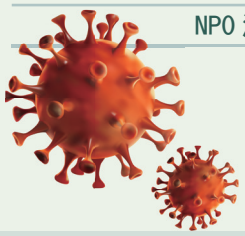
中国共産党を終わらせよう
請願書に署名：
https://endccp.com/ja/

真相

第７期

三退（中共とその関連組織の共産党党員、共青団団員、少先隊隊員からの脱退人数：2004 年 7 月～ 2021 年 7 月現在）
380,085,914 人

NPO 法人 全世界脱党支援センター日本　https://www.quitccp.jp/　連絡先：info@quitccp.jp



中国共産党への責任追及
―― 感染拡大による損害賠償請求 ――

米ミシシッピ州は、中共ウイルス（新型コロナウイルス）の感染を拡大させたとして、中国共産党および複数の関係省庁に対して、召喚状を出した。

米メディアの FOX ニュースによると、ミシシッピ州のリン・フィッチ（Lynn Fitch）司法長官が５月３日、「中国の悪意と危険な行為で損害を受けたミシシッピ州の家族や企業は、金銭的な賠償を受けるべきだ」「訴訟は現在も司法手続き中であり、ミシシッピ州の人々に正義がなされることを期待している」と声明を発表した。

同州は 2020 年、中共ウイルス（新型コロナウイルス）の感染を拡大させたとして中国を提訴していた。そして同州のメディア「WLBT」によると、南部の地方裁判所が 2020 年 12 月 9 日に召喚状を発行している。その対象は、中華人民共和国、中国共産党（以下、中共）、国家衛生健康委員会、応急管理部、民政部、湖北省政府および武漢市政府、武漢ウイルス研究所、そして中国科学院である。

最初に提訴したミズーリ州

ミズーリ州も 2020 年に提訴した。同州は、米国で中国を提訴した最初の州であり、パンデミックの責任とウイルスによって引き起こされた「莫大な人命の損失や人々の苦しみ、経済損失」に対し中国に損害賠償を求めた。

同州は「中国当局による衝撃的な欺瞞、隠蔽、不正行為および不作為がパンデミックにつながった」とし、「彼らは自分たちの行為の責任を問われなければならない」と主張した。

一方、米国の法律である「外国主権免責法」（FSIA）により、国内の裁判所は外国に対する訴訟管轄権を持たないという主権免責の原則を採用している。その免責を回避するため、ミズーリ州とミシシッピ州は中共を被告に加えた。中共は中国の正式な国家機関ではないとして、同党を相手取って提訴した。

また 2020 年 4 月 17 日には、トム・コットン（Tom Cotton）上院議員とダン・クレンショー（Dan Crenshaw）下院議員が「外国主権免責法」（ FSIA ）改正案を提出している。同法案は、今回のパンデミックに関する中国の免責を剥奪し、米市民が連邦裁判所で中国を訴え、ウイルスによる死亡、被害および経済的損失に対する補償の要求を可能とする。

世界規模での責任追及

ウイルスの流行は現在も深刻であり、中共政権の責任を追及する動きは後を絶たない。英国、フランス、ドイツ、オーストラリア、カナダ、スウェーデン、イタリア、スペイン、ブラジルを含む多くの国々で訴訟を起こしている。

また、今年の４月上旬、米下院の共和党幹部ジム・バンクス氏は、バイデン政権に対し、ウイルス発生の責任を中共に負わせて賠償を請求し、国際司法裁判所に提訴するよう呼びかけた。

コロナ禍における心構え

今回の世界的なパンデミックの原因は、紛れもなく中共政権にある。同政権は感染の実態を隠ぺいし、真実を伝えようとした医師を始めとする人々を弾圧した結果、ウイルスが世界的に蔓延したのだ。このウイルスは、「中共ウイルス」と呼んでも過言ではない。

中共は、まるでウイルスのように、買収や賄賂といった不正手段で中国と世界各国を腐敗させ、危害を加えている。

私たちは、今回のウイルスの隠蔽で露呈した中共の欺瞞の本性を認識する必要がある。中共の主張を、うのみにしてはならない。そして社会が道徳を重んじ、人々が善良となれば、自ずと疫病も解決されるだろう。

（一部の内容は大紀元から転載）

↓こちらの QR コードから動画をご視聴ください。

皆様へ
この資料は、いま中国で起きている真相をお伝えするため、無料で配布しているものです。
これによる宣伝や勧誘などの意図は、全くございません。どうぞご安心の上、お読みください。

「中国共産党は人類の最大の脅威である」

『共産党についての九つの論評』

共産党の正体を暴く一冊
共産党を信じたら、命の保証はないのだ。

←故・李登輝台湾元総統が署名推薦（大紀元）

新刊『悪魔が世界を統治している』

「東欧・ソ連は崩壊したが、共産主義が消滅したわけではなく、寧ろその邪霊が世界を統治している。決して楽観できない。」

［博大書店］
https://www.hakudai.jp/

信じがたい人類史上未曽有の国家犯罪

―― 中共による「臓器狩り」

血を好む本性、暴利を貪る欲望、そして実質上の一党独裁。中国共産党（以下、中共）は国家ぐるみで広範囲に、生きている人から強制的に臓器を収奪。にわかに信じがたいが、圧倒的な証拠がそれを裏付ける。

↓こちらのQRコードから動画をご視聴ください。

内部告発で発覚

メディア関係者、日本にも職歴のあるピーター（仮名）氏は2006年3月9日、瀋陽市蘇家屯に法輪功修煉者の臓器を摘出するための秘密収容所の存在を暴露。

アニー（仮名）氏は2006年3月17日、元夫が蘇家屯の遼寧省血栓病院で3年間、生きた法輪功修煉者から角膜を摘出する手術を行っていたと証言。

急増する移植件数

事例：中国全国の肝臓移植件数の推移：

1999年までの20年間の総計：約100件（年平均5件）

2005年の1年間：3212件（1999年までの年平均の約650倍）

極端に短い待機期間

腎臓移植手術における待機期間はアメリカでも平均5年間だが、中国ではわずか2週間。それは巨大な臓器バンクが存在し、オンデマンドに臓器を摘出できる人たちが存在することを示している。

臓器の出処は不明

中共政権は臓器の9割以上が死刑囚からだと説明するが、中国の死刑囚は年間2千人前後（アムネスティ推定）であり、政府公表の年間1万件の移植件数に遠く及ばない。

世界の動き

米議会：2016年6月、中国での法輪功修煉者に対する国家ぐるみの強制臓器収奪を非難する「343号決議案」を可決。

欧州議会：2013年12月、中国での臓器狩りの停止を求める決議を可決。2016年9月に48号書面声明を発表。

英国民衆法廷の最終判決：中国臓器狩りは有罪

「裁定の要旨」：強制臓器収奪は、中国全域で何年にもわたり、かなりの規模で行われており、法輪功修煉者がおそらく主な臓器供給源である。強制臓器収奪は今日も続けられていると結論付ける。

（2019年6月）

患者の家族と名乗った電話調査（録音）

例：2006年6月3日

（T：調査員、宋：東方臓器移植センター・宋院長）

T：宋院長ですか？

宋：そうです。どうぞお話しください・・・

T：彼女が主治医に聞いた話では、腎臓の質がとてもいいのは、ドナーが法輪功の鍛錬をしているからだということですが。

宋：その通りです。当院はまだ息をしていて、心臓が動いている人間を用意しています。・・・今年だけで、現時点までで10以上の腎臓を所有しています。そのような腎臓が10以上です。

T：そのような腎臓が10以上？つまり、生きた人間という意味ですか？

宋：そうです。

（http://stop-oh.org/）

「強制臓器収奪に関する電話調査2020年」

動画のご視聴はこちらから→

法輪功（ファルンゴン）とは

法輪功（ファルンゴン）は、法輪大法（ファルンダーファ）とも呼ばれ、1992年に李洪志先生によって伝えられた佛家修煉法である。「真・善・忍」に従って行動し、道徳を向上させながら自分の心性を修める。煉功の動作は5式。シンプルで覚えやすく、ゆったりとした自然な動きで、身体を浄化する。全ての年齢層の方に適しており、心身の健康をもたらす。人種を問わず、世界で1億人以上の人々が修煉している。

〈受賞アニメ・ドキュメンタリー〉両親が中共に拘束された7歳の美しい少女・扶摇が信念を曲げずたくましく成長する物語。

法輪功はなぜ迫害されているのか

中国では法輪功学習者に発言の自由はない（明慧ネット）

法輪功の教えは素晴らしく、中国では修煉者の数が急増した。当時の江沢民元国家主席はこれに強く嫉妬し、自らの政権を揺るがす脅威と見なしたのだ。

また、「偽、悪、争」を信じ、無神論を唱える中国共産党にとって、法輪功の教え「真・善・忍」は、相容れないものだった。

1999年7月、弾圧が始まって以来、法輪功修煉者に対し、強制労働や残酷な拷問、性的暴行など、精神的・肉体的に残酷な迫害が22年もの間行われている。そして、生きたまま強制的に臓器を摘出、売買する国家犯罪が今なお続いている。

https://ja.falundafa.org/
https://jp.minghui.org/